

令和3年10月15日(金)

令和3年度保健師中央会議および健康危機における保健師活動推進会議

災害時の保健活動を推進するための 統括保健師の役割 ～「連携」に焦点をあてて～

千葉大学大学院 看護学研究院

宮崎 美砂子

内容

- 災害時における「連携」の必要性・意義
- 災害時における「連携」の内容, 課題, 平時からの連携との関係
- 災害時の「連携」に対する統括保健師の役割
- 新型コロナウイルス感染症流行下での災害対応における支援人材の確保

災害時における「連携」の必要性・意義

連携とは

- 連携とは、異なる専門職・機関・分野に属する二者以上の援助者が共通の目的・目標を達成するために、連絡・調整等を行い協力関係を通じていくための手段・方法である
- 連携とは、協働するために「つながる」手段であり、協働には「つながる」だけでなく「共通した目的・目標」「協力過程」「新たなものの生成」が要素としてある
- 連携は、共通の目的・目標の達成に向けて支援を行う活動の連続体である

(引用)中村誠文他:「連携」と「協働」の概念に関する研究の概観-概念整理と心理臨床領域における今後の課題.鹿児島純心女子大学大学院人間科学研究科紀要, 第7号, 3-13, 2012.

「連携」は災害時の保健活動推進に 必要不可欠な行為

- 協力関係を通じて(全体に及ぼして)いくための
連絡・調整等を行う手段・方法
- 協働するために「つながる」手段
- 共通の目的・目標の達成に向けた支援のための
連続的な活動を生み出す源

災害時における統括保健師のコンピテンシー (3領域・87項目)における「連携」の位置づけ

文献による事例調査・予備的ヒアリング調査・全国の都道府県及び保健所設置市の本庁，大規模災害が想定される3県の保健所・市町村の管理期・統括保健師(計255名)への意見調査を踏まえ作成

リーダーシップ (30項目)

- ・ <1-1非常時の意思決定>， <1-2支援従事者の役割行動の組織化と管理・個人の尊重>， <1-3組織内外の関係者との協働の促進>， <1-4変化する状況への持続的対応>， <1-5自己の役割権限の遂行>， <1-6支援従事者の健康安全管理>の6区分から成る

情報知識の形成と運用 (47項目)

- ・ <2-1情報収集の努力の指向>， <2-2情報収集>， <2-3情報の分析>， <2-4情報の使用・活用>の4区分から成る

計画策定と推進(10項目)

- ・ 状況変化やスピードに応じたPDCAの展開，被災の影響や格差を考慮した対策，等の内容を含む

(出典)宮崎美砂子ほか:統括保健師のための災害に対する管理実践マニュアル・研修ガイドライン.平成28-29年度 厚生労働科学研究費補助金(健康安全・危機管理対策総合研究事業)災害対策における地域保健活動推進のための管理体制運用マニュアル実用化研究(研究代表者 宮崎美砂子)総合研究報告書 別冊, 2018.

自治体保健師の標準的なキャリアラダー (専門的能力に係るキャリアラダー) における「連携」の記載

(厚生労働省:保健師に係る研修のあり方等に関する検討会 最終とりまとめ, H28年3月)

求められる能力		A-4	A-5
キャリアレベルの定義	所属組織における役割	<ul style="list-style-type: none"> ・所属係内でチームのリーダーシップをとって保健活動を推進する。 ・キャリアレベルA-5の保健師を補佐する。 ・関係機関との信頼関係を築き協働する。 ・自組織を越えたプロジェクトで主体的に発言する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・所属課の保健事業全般に関して指導的役割を担う。 ・自組織を越えた関係者との連携・調整を行う。
	責任を持つ業務の範囲	<ul style="list-style-type: none"> ・課の保健事業に係る業務全般を理解し, その効果的な実施に対して責任を持つ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・組織の健康施策に係る事業全般を理解し, その効果的な実施に対して責任を持つ。
	専門技術の到達レベル	<ul style="list-style-type: none"> ・複雑な事例に対して, 担当保健師等にスーパーバイズすることができる。 ・地域の潜在的な健康課題を明確にし, 施策に応じた事業化を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・組織横断的な連携を図りながら, 複雑かつ緊急性の高い地域の健康課題に対して迅速に対応する。 ・健康課題解決のための施策を提案する。
4.健康危機管理に関する活動	4-1健康危機管理の体制整備: ・平時において, 地域の健康課題及び関連法規や自組織内の健康危機管理計画等に基づき, 地域の健康危機の低減策を講じる能力	<ul style="list-style-type: none"> ・地域特性に応じた健康危機の予防活動を評価し, 見直しや新規事業を立案できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・有事に起こりうる複雑な状況の対応に備え, 平時より関係者との連携体制を構築できる。 ・健康危機管理計画や体制の見直しを計画的に行うことができる。
	4-2健康危機発生時の対応: ・健康危機発生時に, 組織内外の関係者と連携し, 住民の健康被害を回避し, 必要な対応を迅速に判断し実践する能力	<ul style="list-style-type: none"> ・健康被害を予測し, 回避するための対応方法について, 変化する状況を踏まえて, 見直しができる。 ・組織内の関連部署と連携, 調整できる 	<ul style="list-style-type: none"> ・有事に起こる複雑な状況に, 組織の代表者を補佐し, 関係者との連携し対応できる。

自治体保健師の標準的なキャリアラダーにおける「連携」の記載 (管理職保健師に向けた能力に係るキャリアラダー)

(厚生労働省:保健師に係る研修のあり方等に関する検討会 最終とりまとめ, H28年3月)

求められる能力	B-1 (係長級への 準備段階)	B-2(係長級)	B-3(課長級)	B-4(部局長級)
<p>2 危機管理</p> <ul style="list-style-type: none"> ・危機等の発生時に組織の管理者として迅速な判断を行い<u>組織内外の調整を行う能力</u> ・危機を回避するための予防的措置が行われるよう管理する能力 	<ul style="list-style-type: none"> ・危機管理に係る組織内外の関係者を把握し、有事に備えた<u>関係性の構築</u>ができる。 ・有事にマニュアルに沿って行動し、係長を補佐する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・係員が危機管理マニュアルに沿って行動できるよう訓練等を企画できる。 ・有事に組織内の人員や業務の調整を行い、課長の補佐や部下への指示ができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・課員が危機管理マニュアルに沿って行動できるよう各係長級に対し、訓練等の実施を指導できる。 ・有事に、組織の対応方針に基づき、<u>組織内の人的物的資源等の調整や管理</u>ができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・危機管理に必要な計画、マニュアル・内規等の整備を組織的に提言し、具現化することができる。 ・有事に、行政の保健医療福祉組織を代表して、関係機関の代表者と<u>連携</u>し、部局を統轄して対応できる。

災害時における「連携」の内容，課題， 平時からの連携との関係

令和2-3年度厚生労働科学研究費補助金（健康安全・危機管理対策総合研究事業）

災害時保健活動の体制整備に関わる保健師の
連携強化に向けた研究，から確認する

災害時保健活動の体制整備に関わる保健師の連携強化に向けた研究

【研究目的】災害時の保健活動の推進のために、所属の異なる保健師の連携及び地元関係団体との連携において強化すべき内容、方法を明らかにし、災害時の連携体制の構築に役立つガイドラインを作成する

令和2年度

「何のためにどのような連携が必要か」に着目！

- 災害時に強化すべき連携の内容、方法を明らかにする
 - ✓ 災害時における所属の異なる保健師間(都道府県及び保健所設置市等の本庁, 都道府県型保健所, 市区町村)の連携
 - ✓ 災害時における保健師と地元(圏域, 都道府県内)関係団体との連携
 - ✓ 平時の連携の在り方

【文献調査】
【事例調査】

令和3年度

- 災害時の保健活動の推進のために強化すべき連携について、実行可能性、必要な体制や整備事項を明らかにする
- 災害時の保健活動推進を図るために必要な連携の方法・体制づくりのためのガイドを作成。体制整備や研修に役立てる

【紙面調査】
【グループインタビュー】

【研究組織】

宮崎美砂子(千葉大学大学院), 奥田博子(国立保健医療科学院), 雨宮有子(千葉県立保健医療大学), 時田礼子(東京情報大学), 相馬幸恵(新潟県三条地域振興局), 山田祐子(福島県南相馬市), 藤原真里(高知県健康政策部), 井口紗織(千葉大学大学院)

文献調査

【文献調査】 対象文献

(1) 災害種別

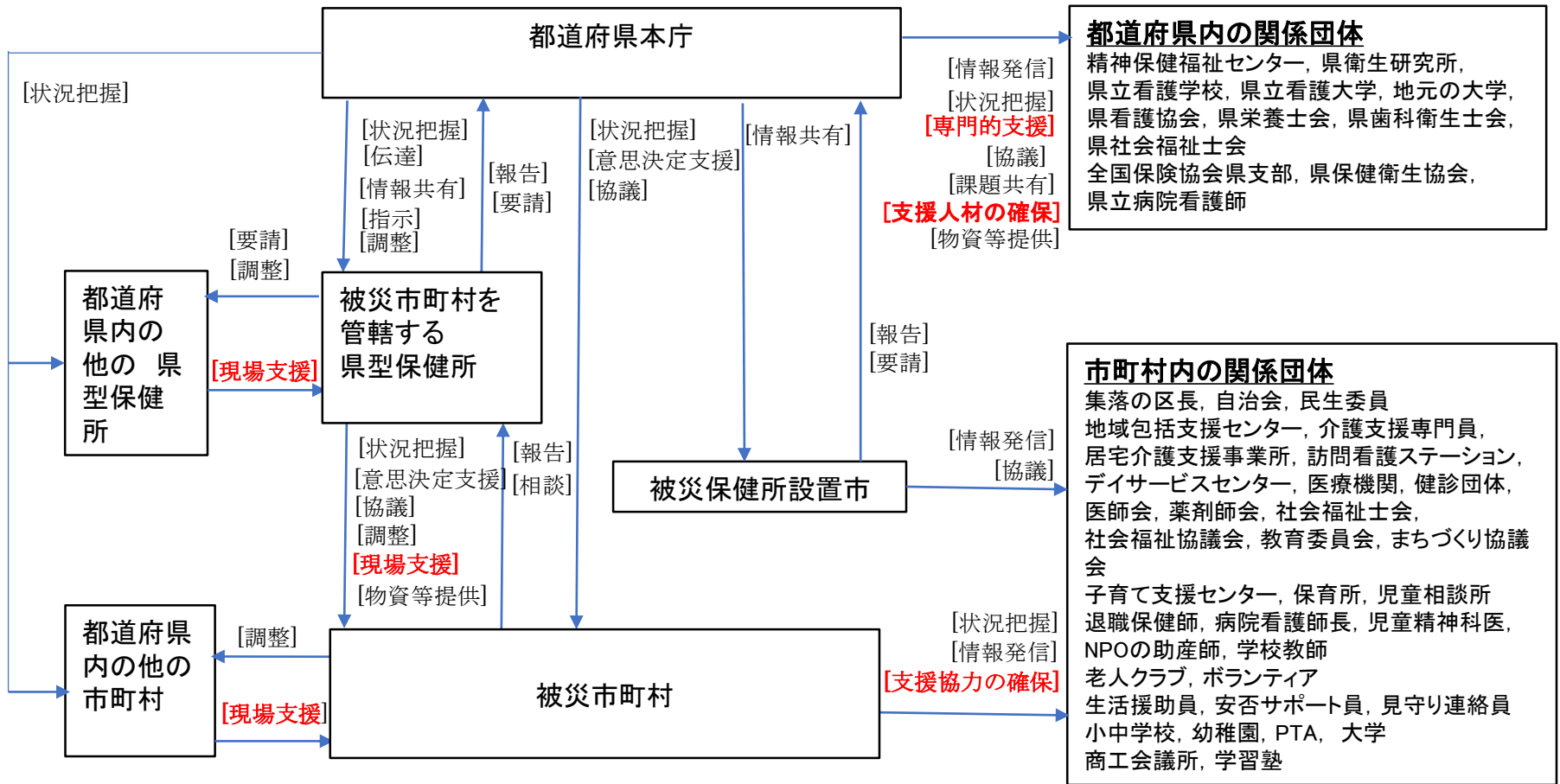
- A. 自然災害(激甚災害の指定を受けた災害)
 - B. その他の健康危機事例(感染症集団発生事例等)
- 災害時における連携の事象を多角的に検討する資料を得る

(2) 災害の発災時期

過去20年(2000年1月～2020年7月)に発生した自然災害及びその他の健康危機の事例とする

【結果】健康危機対応における保健師間及び地元関係団体との連携

過去20年間の健康危機事例(自然災害53事例, 感染症集団発生12事例)から



(出典)宮崎美砂子ほか:災害時における都道府県及び保健所設置市等の本庁,保健所,市区町村の各機関の保健師間の連携と応援人材の確保に関する仮説的枠組の作成.令和2年度厚生労働科学研究費補助金(健康安全・危機管理対策総合研究事業)災害時保健活動の体制整備に関わる保健師の連携強化に向けた研究(研究代表者 宮崎 美砂子) 分担研究報告書, p7-p26, 2021.

【結果】健康危機対応における保健師間及び地元関係団体との連携の特徴

過去20年間の健康危機事例(自然災害53事例,感染症集団発生12事例)から

1. 情報の授受に関する連携
[状況把握][情報発信][伝達][情報共有][報告]
2. 活動の方向づけに関する連携
[意思決定][協議][相談][指示] **[専門的支援]**
[課題共有]
3. 活動に必要な資源の授受に関する連携
[要請][調整][物資等提供] **[現場支援][支援人材確保][支援協力確保]**

〔分かったこと〕

- “連携”を手段として,上記の1~3の点で有効活用して,災害時保健活動を推進している
- つまり,連携には,意図や目的がある
- 連携にはその契機をつくる発動者がいる
- 連携には促進要因, 阻害要因, 基盤となる平時からの連携がある

(出典)宮崎美砂子ほか:災害時における都道府県及び保健所設置市等の本庁,保健所,市区町村の各機関の保健師間の連携と応援人材の確保に関する仮説的枠組の作成.令和2年度厚生労働科学研究費補助金(健康安全・危機管理対策総合研究事業)
災害時保健活動の体制整備に関わる保健師の連携強化に向けた研究(研究代表者 宮崎 美砂子) 分担研究報告書, p7-p26, 2021.

事例調査

【事例調査】 対象事例

(1) 基準

過去5年以内に発生した激甚災害の指定を受けた自然災害で、かつ連携を活かして災害時の保健活動推進を図った好事例

(2) 選定方法

本研究班組織のメンバー間の協議により上記基準を充たす災害及び自治体を候補として選定

(3) 調査対象

選定した災害対応事例において、以下の所属の保健師及び連携した地元関係団体の調整担当者それぞれにインタビューを行った

	都道府県本庁	県型保健所	市町村	保健所設置市
災害事例	3	3	4	3
災害種別	水害2, 台風1	水害2, 地震1	水害1,地震1,台風2	水害1, 台風2
調査自治体(機関)	3自治体	7機関	3自治体	3自治体
調査対象 保健師	4名	9名	4名	6名
調査対象 地元関係団体	1職能団体:担当者1名	1職能団体:担当者2名	1民間病院:担当者 2名	1大学:担当者1名

(4) 調査時期: 令和2年11月～令和3年3月

**【結果】 災害時における保健師間及び地元関係団体との連携
13の好事例調査（水害6事例，台風5事例，地震2事例）から**

● 災害時における連携として、43項目の内容が見出された

発災後の時期別	連携の 項目数	連携の発動者				※ 発動 者数
		都道府 県本庁	県型 保健所	市町村	保健所 設置市	
I. 災害発生の数日前	1		1			1
II. 超急性期	7	4	2	1	2	9
III. 急性期及び亜急性期	19	2	14	6	3	25
IV. 慢性期（復旧・復興期）	10	3	3	3	3	12
V. 静穏期（平時）	6	1	3	2	2	8
計	43	10	23	12	10	55

※項目によっては2者が発動者となることがあるため、項目数と発動者数は一致しない

災害時の保健師間及び地元関係団体 との連携の具体例～事例調査から

(出典)宮崎美砂子ほか:災害時における都道府県及び保健所設置市等の本庁,保健所,市区町村の各機関の保健師間の連携と応援人材の確保に関する仮説的枠組の作成.令和2年度厚生労働科学研究費補助金(健康安全・危機管理対策総合研究事業)
災害時保健活動の体制整備に関わる保健師の連携強化に向けた研究(研究代表者 宮崎 美砂子) 分担研究報告書, p7-p26, 2021.

災害時における保健師間及び地元関係団体との連携 13の好事例調査（水害6事例，台風5事例，地震2事例）から

I. 災害発生の数日前の連携項目

保健所は，災害発生時にスムーズに行動を開始できるように，大雨や台風接近が予想される数日前に市町村に訪問して，災害対応の準備について打合せを行う

連携の特徴

- 〈発動者〉保健所。市町村との連携
- 〈何のために〉災害発生時にスムーズに行動を開始できるように
- 大雨や台風接近（火山噴火なども含まれるであろう）のように襲来が予測される災害に対して
- 数日前からの連携，直接訪問
- 準備について打合せを行う

災害時における保健師間及び地元関係団体との連携 13の好事例調査（水害6事例，台風5事例，地震2事例）から

Ⅱ. 超急性期の連携項目（抜粋）

県本庁は、被害が想定される市町村の管轄保健所に連絡を取り詳細な情報を把握しながら、情報共有に関する互いの役割を確認する

県本庁は、保健所設置市に対して、災害時の受援の意向の確認と、双方の役割分担を確認するために、活動イメージの共有を図る

連携の特徴

- 〈発動者〉県本庁。県本庁と県型保健所，保健所設置市それぞれの連携
- 〈何のために〉互いの役割の確認，受援の意向の確認のために
- 情報収集，活動イメージの共有を行う

災害時における保健師間及び地元関係団体との連携 13の好事例調査（水害6事例，台風5事例，地震2事例）から

Ⅱ. 超急性期の連携項目（抜粋） つづき

県本庁は、応援人材を県内から迅速に確保するために、災害時応援協定を締結している関係団体に連絡を取る

市町村及び保健所設置市は、平時からの面識や協働関係を基に、必要な支援人材確保のために地元の関係団体への協力打診及び関係団体からの協力の申し出を活かす

連携の特徴

- 〈発動者〉県本庁，市町村，保健所設置市。地元の関係団体との連携
- 〈何のために〉応援支援人材を迅速に確保するために
- 応援協定，平時からの面識や協働関係，関係団体からの申し出を活かす

災害時における保健師間及び地元関係団体との連携 13の好事例調査（水害6事例，台風5事例，地震2事例）から

Ⅲ. 急性期及び亜急性期の連携項目（抜粋）

保健所は、地域に責任をもった活動ができるように、市町村を早期に訪ね、不安や心情に寄り添いながら保健師としての覚悟や役割を具体的に伝える

保健所は、市町村に対して必要な支援を判断するために、市町村に一定時間滞在して、その場でできる事を一緒に行いながら課題を共有する場をもつ

連携の特徴

- 〈発動者〉保健所。市町村との連携
- 〈何のために〉市町村が責任ある活動ができるように、市町村に対して必要な支援を判断するために
- 市町村を早期に訪問，一定時間滞在
- 心情に寄り添う，その場でできる事を一緒に行い課題を共有

災害時における保健師間及び地元関係団体との連携 13の好事例調査（水害6事例，台風5事例，地震2事例）から

Ⅲ. 急性期及び亜急性期の連携項目（抜粋） つづき

保健所と市町村は，市町村が**応援者を効果的に活用できるように**，**受援に必要な情報や資料を提供し合い受入体制をつくる**

保健所は，市町村への**支援が実効性のあるものとなるように**，**県本庁に必要な調整内容を伝え，その結果を市町村にフィードバックする**

連携の特徴

- 〈発動者〉保健所。市町村との連携
- 〈何のために〉市町村が受援を効果的に活用でき，受援が実効性のあるものとなるように
- 保健所と市町村の協働による受援の受入れ体制づくり
- 保健所は県本庁とも連携する

災害時における保健師間及び地元関係団体との連携
13の好事例調査（水害6事例，台風5事例，地震2事例）から

Ⅲ. 急性期及び亜急性期の連携項目（抜粋） つづき

保健所と市町村は，地域資源を活かして対応策が図れるように，協議する

市町村及び保健所設置市は，地元関係団体との協働を活かして活動推進を図るために，地元関係団体もつネットワークや専門人材を活用する

連携の特徴

- 〈発動者〉保健所，市町村，保健所設置市。地元関係団体との連携
- 〈何のために〉対応策，活動推進を図るために
- 地域資源，地元関係団体が有するネットワーク，専門人材を活用する

災害時における保健師間及び地元関係団体との連携 13の好事例調査（水害6事例，台風5事例，地震2事例）から

IV. 慢性期（復旧・復興期）の連携項目

県本庁は、市町村の課題の把握と市町村間の連携の場づくりのために市町村のリーダー保健師を集めた会議を開催して意見を聞く

連携の特徴

- 〈発動者〉県本庁。市町村との連携
- 〈何のために〉市町村の課題の把握，市町村間の連携の場づくりのために
- 市町村のリーダー保健師への支援の意味を含む

災害時における保健師間及び地元関係団体との連携 13の好事例調査（水害6事例，台風5事例，地震2事例）から

IV. 慢性期（復旧・復興期）の連携項目

保健所設置市は，応援者との協働に伴い生じてきた問題への対応を図るために，県本庁に相談し助言を得る

連携の特徴

- 〈発動者〉保健所設置市。県本庁との連携
- 〈何のために〉応援者との協働が長期化する中で生じてきた問題への対応のために
- 県本庁の助言を活用する

災害時における保健師間及び地元関係団体との連携 13の好事例調査（水害6事例，台風5事例，地震2事例）から

IV. 慢性期（復旧・復興期）の連携項目

保健所と市町村は，変化するヘルスニーズに対応するために，必要な保健事業について相談する

連携の特徴

- 〈発動者〉保健所，市町村。互いの連携
- 〈何のために〉変化するヘルスニーズに対応するために
- 保健事業を活用したヘルスニーズへの対応

災害時における保健師間及び地元関係団体との連携 13の好事例調査（水害6事例，台風5事例，地震2事例）から

IV. 慢性期（復旧・復興期）の連携項目

市町村及び保健所設置市は，時間経過に伴い顕在化するヘルスニーズへの対応を図るために，地元関係団体の専門知識や技術をもつ人材を活用する

連携の特徴

- 〈発動者〉保健所，市町村。地元関係団体との連携
- 〈何のために〉時間経過に伴い顕在化するヘルスニーズへの対応を図るために
- 専門知識や技術をもつ人材の活用

災害時における保健師間及び地元関係団体との連携 13の好事例調査（水害6事例，台風5事例，地震2事例）から

V. 静穏期（平時）の連携項目

市町村及び保健所設置市は，災害時に顕在化した地域の支援体制の脆弱性を改善するために，災害時の協働経験を活かして地元関係団体と継続して協議する場をもつ

連携の特徴

- 〈発動者〉市町村，保健所設置市。地元関係団体との連携
- 〈何のために〉災害時に顕在化した地域の支援体制の脆弱性を改善するために
- 継続して協議する場をもつ

災害時の連携と平時からの連携との関係

【事例調査の結果から】

- 平時からの協働に基づいて、相手の組織や構成員に対する理解と信頼があって、災害時の連携が生じていることが確認できた
- また平時からの関係をもつ仲介者を介して新たな連携が生じている場合もあった
- 一方、平時からの関係による相手への理解や信頼が不確かな場合であっても、連携の目的や意図が共有できる場合は、連携を開始することを通して相手への理解や信頼を深めていることも確認できた



- ◆ 平時からの協働は、災害時の連携の基盤となっている
- ◆ 災害時における連携を、災害時の対応で終わらせずに、その後もどのように関係性を継続できるか？
- ◆ 災害時対応を通して顕在化した地域のヘルスニーズに対して、連携する必要性や目的を共有し、協働する関係を維持していくことで、別の健康危機対応や次なる災害時対応に連携が活けると考えている事例もあった
- ◆ 個人つながりから、組織間つながりへ、さらにネットワークへと繋がりを拡げていくことを意識する必要がある

連携を活用した災害時の保健活動推進 に関する課題

1. 統括保健師に関する課題
2. 保健師に関する課題
3. 情報の集約に関する課題
4. 受援の仕組みに関する課題
5. 関係団体の災害時支援協力に関する
課題

1. 統括保健師に関する課題

- 連携を活かした活動推進における、県本庁の統括保健師の機能強化
- 災害時における所属の異なる統括者同士の連携の強化
- 統括保健師の受援や調整，市町村支援に係る役割の理解の浸透
- 市町村（保健所設置市を含む）の分野横断の調整統括
- 多様なルートによる自治体職員の受援（県本庁，首長会，相互応援協定等）の調整機能の強化
- 災害時における業務継続と災害対応業務の調整

2. 保健師に関する課題

- 災害支援活動, 各役割, 受援に関する知識不足
- 組織間連携の重要性や方法に関する認識不足
- 平時からのチーム活動に対する経験不足
- 平時からの課題共有や共同プロセスの不足
- 外部支援者に対するイニシアティブの不足
- 災害時における連携会議出席の必要性や重要性への認識不足
- 連携協働の経験を次の活動へとつなげていく意識と取組の不足
- 先輩保健師が培ったネットワークの後輩への伝承
- 市町村保健師の保健所保健師に対する相談相手としての信頼感

3. 情報の集約に関する課題

- 現地の状況や課題について、県本庁へのタイムリーな情報の集約を可能とする対応の不足
- 保健所保健師の、本庁への報告の必要性に対する認識不足
- 県外応援の早期push型支援による混乱

4. 受援の仕組みに関する課題

- 総務部署（事務職）と、保健師間の災害支援の 必要性や意義に関する認識の差
- 受援に対して市独自の方針や対応がある場合、全県下の状況把握や方針決定が困難
- 感染症流行と災害対策が併存する複合災害時は、応援人員確保の困難性が高まる

5. 関係団体の災害時支援協力に関する課題

- 他機関や他部署に連絡を取る場合の部署やキーパーソンの認知不足
- 個人の関係性に留まり、関係が組織化されにくく、その後のネットワークに発展しにくい
- 災害対応において組織内の経験が途切れないようにすること
- 関係団体における災害時対応のマニュアルの整備
- 支援団体との災害協定に関する認識の相違

災害時の「連携」に対する 統括保健師の役割

災害時の「連携」に対する統括保健師の役割

- 連係の契機をつくる発動者の重要性
 - ・ 連携においては、連携の契機をつくる発動者の存在が重要であることが事例調査から確認できた
 - ・ 発動者は、各所属において統括的立場にある保健師が担っていた
- 統括保健師は「連携」に対して以下の役割があると考えられる
 - ・ 連携の契機を創る発動者を担う
 - ・ 連携の目的や意図を明確にし、連携相手と共有する(何のために、だれと連携するのか？それによってどのような成果を期待するのか)
 - ・ 連携によって持続性のある活動の体制づくりを行う
 - ・ 災害時の連携の経験によって生み出された「新たな価値」を確認し、関係性を平時の連携へとつなげ、別の健康危機対応、次なる災害時の連携の基盤とする

災害時保健活動の体制整備に関わる 保健師の連携強化に向けたガイドライン

ガイドライン作成の今後の方向性

- **紙面(意見)調査の実施**: 災害時における43の連携項目について**実行可能性, 必要な体制や整備事項について**意見を尋ねる ※10月下旬予定
- **統括的立場の保健師に回答を依頼**
 - ・ 都道府県本庁・保健所設置市・県型保健所(全数)
 - ・ 市町村(人口5万人未満自治体より3割抽出)

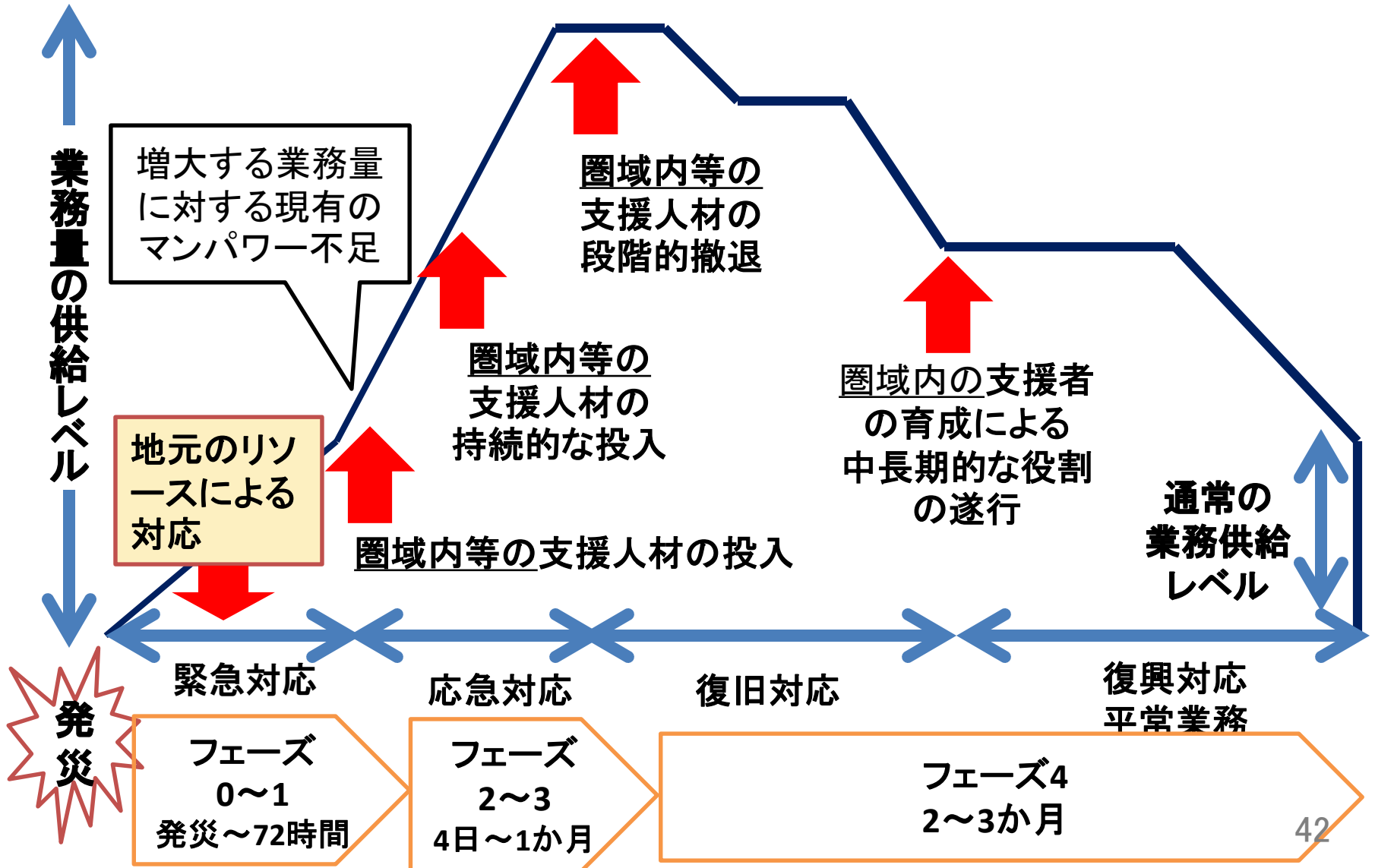
- **専門家会議の開催**: 上記の結果を踏まえ, 災害時の保健活動推進のための連携強化に向けた**体制整備を図るための方策**について, 経験豊かな保健師, 学識者等へグループインタビューを行う



- **保健師の連携強化に向けた体制整備のためのガイドラインの作成**
 - ・ 災害発生後のフェーズに応じて, 活動推進に必要な連携項目と解説の提示
※既存のガイドラインの増補版として現場で活用できるようにする
 - ・ 新型コロナウイルス感染症流行下を見据えた平時からの連携のあり方の提示(体制整備, 実践力の強化, 研修・訓練の充実等)

新型コロナウイルス感染症流行下での 災害対応における支援人材の確保

発災後の支援活動の業務量のイメージ



災害時の連携による人材確保・人材活用

- 自組織内のみならず，組織外の連携相手も健康危機時においては協働するチームメンバーであるとの捉えが重要
- 個人及び組織間のそれぞれのレベルにおいて，チームとして機能するための持続的なかかわりとチームであることを意識する場づくりが重要
- 連携によるチームを機能させるためには以下が関与する
 - 連携の目的を形成し提示する「全体調整」
 - 連携の契機をつくる「協調関係」
 - 連携による協力過程で形成される「信頼関係」
 - 連携による「新たなものの生成」
- 連携を成立させるための環境づくりとして，制度・体制・基盤の充足が必要

まとめ

- 「連携」は災害時の保健活動推進に必要不可欠な行為である
- 「連携」は手段・方法である。したがって、何のためにどのような連携が必要か？という目的・意図を明確にすることが大事である
- 統括保健師は、連携の契機を創る発動者となり、連携を持続的に機能させることで活動の体制づくりを行う
- 新型コロナウイルス感染症流行下では、支援人材を被災地圏域(都道府県)内から得る必要性が高まる
- 平時からの協働の経験を基盤にして、災害時には地元関係団体とつながり、支援人材を確保し、目的を共有して、効果的な活動推進を図る。そしてその連携の経験を平時における連携へと継続し、次なる災害に備える

引用文献

- 中村誠文他:「連携」と「協働」の概念に関する研究の概観-概念整理と心理臨床領域における今後の課題.鹿児島純心女子大学大学院人間科学研究科紀要, 第7号, 3-13, 2012.
- 宮崎美砂子ほか:統括保健師のための災害に対する管理実践マニュアル・研修ガイドライン.平成28-29年度厚生労働科学研究費補助金(健康安全・危機管理対策総合研究事業)災害対策における地域保健活動推進のための管理体制運用マニュアル実用化研究(研究代表者 宮崎美砂子)総合研究報告書 別冊, 2018.
- 厚生労働省:保健師に係る研修のあり方等に関する検討会 最終とりまとめ, H28年3月.
- 宮崎美砂子ほか:災害時における都道府県及び保健所設置市等の本庁,保健所,市区町村の各機関の保健師間の連携と応援人材の確保に関する仮説的枠組の作成.令和2年度厚生労働科学研究費補助金(健康安全・危機管理対策総合研究事業)災害時保健活動の体制整備に関わる保健師の連携強化に向けた研究(研究代表者 宮崎美砂子)分担研究報告書, p7-p26, 2021.